

## 主な議案の内容

★小郡市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について（議案第33号）

大原地区の九州自動車道東側を地区整備計画区域に追加し、建築できる建築物の追加及び区域内建築物の制限を図るもの。

★平成23年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）の承認について（議案第35号）

人事異動に伴う人件費の整理を行うもので総額52万円を減額補正するもの。

★平成23年度小郡市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の承認について（議案第36号）

後期高齢者医療法改正対応のパッケージソフト購入費として156万円を補正するもの。

★平成23年度小郡市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）の承認について（議案第37号）

介護認定申請増による調査円滑化のための調査員と一般事務員の増員による賃金10

9万2千円など総額1、392万円を補正するもの。

★平成23年度小郡市介護保険事業特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第1号）の承認について（議案第38号）

社会保険料の率の変更により1万8千円を補正するもの。

★平成23年度小郡市下水道事業特別会計補正予算（第1号）の承認について（議案第39号）

人事異動に伴う人件費の整理を行うもので総額899万円を減額補正するもの。

★平成22年度小郡市一般会計歳入歳出決算認定について（認定第1号）

歳入決算額177億1、209万8千円で対前年比0・2%減、歳出決算額170億8、228万円で対前年比0・2%減。歳入歳出差引額は6億2、981万5千円

の黒字、実質収支額は6億810万9千円の黒字。

★平成22年度小郡市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第2号）

96万2千円の赤字で、この赤字分は、23年度から繰上充用するもの。

★平成22年度小郡市老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第3号）

歳入決算額823万5千円で対前年比39・8%減、歳出決算額823万5千円で対前年比16・2%増。歳入歳出差引額0円。本特別会計は平成22年度末で閉鎖。

★平成22年度小郡市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（認定第4号）

歳入決算額6億6、613万7千円で対前年比8・1%増、歳出決算額6億4、978万1千円で対前年比8・2%増。歳入歳出差引額は1、635万6千円の黒字。

★平成22年度小郡市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算認定について（認定第5号）

歳入決算額28億8、204万6千円で対前年比2・2%増、歳出決算額28億6、708万6千円で対前年2・9%増。歳入歳出差引額は1、496万円の黒字。

★平成22年度小郡市介護保険事業特別会計（介護サービス

事業勘定）歳入歳出決算認定

事業勘定）歳入歳出決算認定について（認定第6号）

歳入決算額2、613万円で対前年比9・0%増、歳出決算額2、000万2千円で対前年比3・7%減。歳入歳出差引額は612万8千円の黒字。

★平成22年度小郡市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第7号）

歳入決算額18億7、592万円で対前年比13・9%減、歳出決算額18億7、158万1千円で対前年比14・1%減。歳入歳出差引額は434万2千円の黒字。実質収支額は125万6千円の黒字。

★平成22年度小郡市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第8号）

歳入決算額955万2千円で対前年比23・3%減、歳出決算額31万7千円で対前年比90・0%減。歳入歳出差引額は923万5千円の黒字。

は923万5千円の黒字。

は923万5千円の黒字。

は923万5千円の黒字。

## 決算審査特別委員会報告

平成22年度決算の認定議案（認定第1号から第8号）が市長から議会に提案されました。議会では、18名全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月6日、7日、8日、9日及び21日の5日間で審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

### 住民基本台帳カード（住基カード）について

問：写真付き住基カード普及の取り組みと発行枚数について。  
答：高齢者にとって身分証明書としての役割が高く、市のホームページや広報紙等で啓発をしている。21年度に357枚、22年度に290枚の発行をした。



▲公的な証明書としても使える住民基本台帳カード